

この戦後會者續出の現在僅かに三百名が
救つたに止るのみは是れ會長杉耕三の利
底地を組織の困難たるを看取し稗意
一決心より神戸聯合會の組織を促し
十一月廿四日聯合會の関西方面協会の理
事藤岡五右衛門に就き之が善後策を以
て聯合會上擬議の結果は際際聯合會事
務所を撤廃し名義を以て播磨造船所
組合に改稱スルことを協定し事務所は
吉谷相生所敷居第七番地、水田製菓
所を置き徳来ノ合費系を以て廿五日を以て改
正し尚隔月機関雜誌の発行を以て各室を以
て十番番合所合費を以て改稱を以て

二 労働団体と爭議

(一) 大日本縫製業事務員會

ノ高島支部

幹事 齋藤徳太郎 浜野藏之助 等
ニ往來し各支部状況ヲ密査シテ大ニ吹聴シテ
部員ヲ煽動シテ、アリシモ種々ノ交渉ヲ惹起シ會ノ
統一ヲ欲シニ至リ發會當時百五十名ノ會員ヲ有
シタルモ現在百名内外ニ減少シ猶續々退會社ヲ見
ントスルノ情況ニ至リ十一月十九日聯合事務所ニ提
議會ヲ開キシニ來會社僅に二十七名ニ過キ不其協議
事項 (一) 罷職ニ解職セラルル支部員石渡康之助